

P C T

REC'D 28 OCT 2004

WIPO

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 663882	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/07840	国際出願日 (日.月.年) 20.06.2003	優先日 (日.月.年) 20.06.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. C09D11/00, B41J2/01, B41M5/00		
出願人 (氏名又は名称) 日立マクセル株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 2 ページである。 <input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照) <input type="checkbox"/> 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙 b <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 <input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第II欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備 <input checked="" type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見	

国際予備審査の請求書を受理した日 20.01.2004	国際予備審査報告を作成した日 04.10.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 安藤 達也	4V 3133
電話番号 03-3581-1101 内線 3483		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COPY

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)という国際調査
☐ PCT規則12.4という国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3という国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に回答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-14 ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2-5 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1,8-12 項*、09.07.2004 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 6,7 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1-5, 8-12	有
	請求の範囲		無
進歩性(IS)	請求の範囲	1-5, 8-12	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-5, 8-12	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

請求の範囲1-5, 8-12に係る発明は、国際調査報告に記載された文献に記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。
したがって、請求の範囲1-5, 8-12に係る発明は、新規性及び進歩性を有するものである。

第Ⅷ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付けについての意見を次に示す。

【請求の範囲 1 - 5, 8 - 12 の国際予備審査の対象について】

「酸性基を有する樹脂」として、明細書で具体的に裏付けられているのは、(メタ)アクリル酸のモノマー、疎水基を有するモノマー、ポリエーテル系のモノマーを共重合させた樹脂のみであって、その他の酸性基を有する樹脂については、具体的な開示はなく、何ら裏付けされているものではない。

したがって、具体的に開示されている「酸性基を有する樹脂」以外を用いた顔料インク組成物については、明細書により十分な裏付けがされているとは認めることはできず、有意義な見解を示すことができない。

したがって、「酸性基を有する樹脂」として、(メタ)アクリル酸のモノマー、疎水基を有するモノマー、ポリエーテル系のモノマーを共重合させた樹脂を用いた顔料インク組成物のみを国際予備審査の対象とした。

請 求 の 範 囲

5 1. (補正後) 顔料、酸性基を有する樹脂および沸点150℃以上の有機溶剤を含有する顔料インク組成物であって、上記の有機溶剤がインク組成物全体の50～95重量%を占め、酸性基を有する樹脂が疎水基を含む水不溶性のアクリル系樹脂であることを特徴とする顔料インク組成物。

2. インク組成物全体の重量に対し、0.1～20重量%の顔料、および0.5～30重量%の酸性基を有する樹脂を含む請求項1に記載の顔料インク組成物。

10 3. 酸性基を有する樹脂は、10～300mg KOH/gの範囲の酸価を有する請求項1または2に記載の顔料インク組成物。

4. 酸性基を有する樹脂は、 $1 \times 10^4 \sim 3 \times 10^5$ の範囲の重量平均分子量、および1.5～10の範囲の分子量分布を有する請求項1～3のいずれかに記載の顔料インク組成物。

15 5. 酸性基を有する樹脂は、エーテル結合を含む樹脂である請求項1～4のいずれかに記載の顔料インク組成物。

6. (削除)

7. (削除)

20 8. (補正後) 沸点150℃以上の有機溶剤は、極性溶剤である請求項1～5のいずれかに記載の顔料インク組成物。

9. (補正後) 沸点150℃以上の有機溶剤は、エーテル系溶剤である請求項1～5及び8のいずれかに記載の顔料インク組成物。

25 10. (補正後) 沸点150℃以上の有機溶剤は、(ポリ)アルキレングリコールのモノアルキルエーテルモノアルキルエステル化合物またはジアルキルエステル化合物である請求項1～5、8及び9のいずれかに記載の顔料インク組成物。

11. (補正後) 沸点150℃以上の有機溶剤は、エチレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、ジエチレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、トリエチレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、プロピレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエ

5 ステル、ジプロピレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、
トリプロピレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、エチレ
ングリコールジアルキルエステル、ジエチレングリコールジアルキルエステル、
トリエチレングリコールジアルキルエステル、プロピレングリコールジアルキル
エステル、ジプロピレングリコールジアルキルエステル、トリプロピレングリコ
ールジアルキルエステルのうちの少なくとも1種からなる請求項1～5及び8～
10のいずれかに記載の顔料インク組成物。

10 12. (補正後) 20℃における表面張力が25 mN/m以上、粘度が2～3
0 cP、顔料の平均分散粒径が0.01～0.5 μmである請求項1～5及び8
～11のいずれかに記載のインクジェットプリンター用顔料インク組成物。